

## はじめに

本書は主として関西在住の技術・職業教育に関心の深い研究者、高校教員、大学院生などが中心メンバーである「関西技術教育懇話会」の日頃の研究と討論を集約したものである。その内容はこれまで『専門高校の国際比較』(2001年)、『新版・専門高校の国際比較』(2006年)として出版してきた。

今回はその研究の成果をさらに深め、大学や専門学校で技術・職業教育を専攻している学生から、教育現場で苦勞している専門高校の教員、さらにはキャリア教育・職業教育に関心を持つ人たちに役立つよう、今日の技術・職業教育の世界的動向も含んだ基本的課題から、教育現場の具体的・専門的領域にまで踏み込み論述した。

本書の内容を要約すると以下の3点に焦点化できる。

- ① グローバルな視点から見た日本の職業教育の特徴と問題点は何かについて、比較教育学的に論究した。
- ② 日本の後期中等教育段階の職業教育・キャリア教育の現状と課題について、専門高校における近年の取り組みを、関西を中心に論述した。
- ③ 専門学校における職業教育の現状と課題について、海外の同種の職業教育機関と比較し考察した。

学校から仕事への移行が円滑に進まない若者支援が社会問題となっている今日の日本社会において、職業教育を多角的視点から捉えた本書が、大学や専門学校の教科書、専門高校の教員の参考図書として、さらには職業教育に関心を持つ人々に対して、広く活用されることを願っている。

本書では、平成20～22年度科学研究費補助金(基盤研究(B)課題番号20330164)の研究成果をふまえ、さらに加筆した。

厳しい出版情勢の中で本書の発行に多大なご助力いただいた法律文化社編集部の小西英央、舟木和久の両氏に厚くお礼を申し上げたい。

2013年3月1日

編者一同